

# 古墳

糸島地方には、約60もの前方後円墳をはじめとして、多数の重要な古墳がある。特に、伊都国の都と推されるこの地域には重要な古墳が多い。

国指定史跡

## 11 銭瓶塚古墳 地図A-3

(せにかめづかごふん)

■古墳時代中期(5世紀頃) 全長約48m  
曽根丘陵の中央部に位置する前方後円墳。現在の古墳は前方部と後円部の一部を道路によって壊されています。  
古墳は前方部を西に向け、墳丘のまわりには幅約6～9mの周溝がめぐっています。

周溝内から円筒埴輪、朝顔形埴輪、形象埴輪が出土しており、伊都国歴史博物館に銭瓶塚古墳から出土したと伝えられる冢形埴輪があります。



国指定史跡

## 12 狐塚古墳 地図A-3

(きつねづかごふん)

■古墳時代中期(5世紀頃) 直径33m  
曽根丘陵の東端部に位置する円墳。もとの高さは現状より1mほど高かったと考えられ、墳丘の斜面には葺石が施されています。墳丘のまわりには幅6～10mの周溝がめぐっています。

埋葬施設は横穴式石室と小型の竪穴式石室で、副葬品は刀子(ナイフ)5本、鉄鏃2本、鉄斧1個などが出土しています。  
現在、石室と周溝は埋め戻されて見ることができません。



## 13 端山古墳 地図B-3

(はやまごふん)

■古墳時代前期(4世紀頃) 全長約78m  
前方部が北を向いた柄鏡形の前方後円墳でしたが、前方部の墳丘は削られてしまい、現在は後円部だけが残っています。墳丘のまわりには盾形の周濠があったと考えられています。



## 14 築山古墳 地図B-3

(つきやまごふん)

■古墳時代前期(4世紀頃) 全長約60m  
前方部を北西に向けた前方後円墳ですが、前方部も後円部も一部が壊されています。墳丘のまわりには盾形の周濠があったと考えられます。また、周濠から壺型の埴輪が出土しており、墳丘には埴輪が立てられていると考えられています。



## 15 古賀崎古墳 地図B-4

(こがさきごふん)

■古墳時代後期(6世紀頃)  
直径約20mの円墳と考えられていますが、墳丘は周辺の造成によりほとんど破壊されているため、前方後円墳である可能性もあります。

埋葬施設は南側に入口を持つ横穴式石室ですが、大きく破壊されています。石室内からは大刀、馬具、須恵器などが出土しています。大刀は柄頭に龍をかたどった装飾が付けられた逸品で、須恵器も装飾性に富む珍しいものです。これらの出土品は伊都国歴史博物館に展示されています。



市指定史跡

## 16 井原1号墳 地図B-4

(いわた1ごうふん)

■古墳時代前期(4世紀頃) 全長約43m  
前方部が北に向う前方後円墳で、墳丘は前方部2段、後円部3段に造られていて、葺石も施されています。埋葬施設は大型の箱式石棺で、後円部の中央に位置しています。

この古墳は水田の中に緑におおわれた墳丘がほとんどあるのが、県道大野城二丈線からよく見えます。



国指定史跡

## 10 ワレ塚古墳 地図A-3

(われづかごふん)

■古墳時代後期(6世紀頃) 全長約42m  
曽根丘陵の中央部に位置する前方後円墳。古墳は前方部を北に向け、短い岬立貝形です。後円部は2段に造られていたと考えられ、墳丘の斜面には葺石が施され、埴輪が立てられています。また、墳丘のまわりには幅約7mの周溝がめぐっていたと考えられています。

出土品は須恵器、円筒埴輪、馬形埴輪などがあります。

